

当行（単体ベース）の営業の概況

2021年9月中間期の営業の概況（2021年4月1日～2021年9月30日）

当中間期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費が弱い動きになりましたが、企業の輸出や生産活動に持ち直しの動きがみられるなど、景気持ち直しの動きが継続しました。

地元香川県におきましても、個人消費では弱い動きとなりましたが、企業の生産活動で持ち直しの動きがみられました。

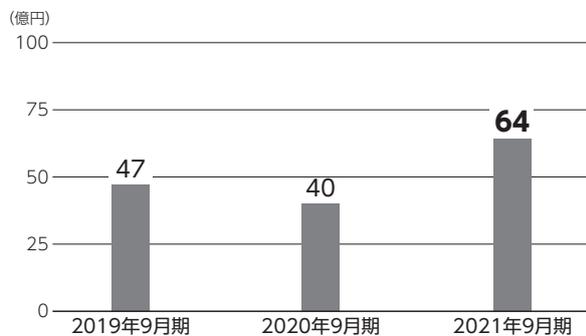
このような経済環境のなか、当中間期の業績等は次のとおりとなりました。

コア業務純益（除く投資信託解約損益）

コア業務純益（除く投資信託解約損益）は、資金利益^{※1}、役員取引等利益及びその他業務利益^{※2}の全てが増加し、経費も減少したことから、前年同期比24億円増加の64億円となりました。

※1 投資信託解約損益を除く ※2 債券関係損益を除く

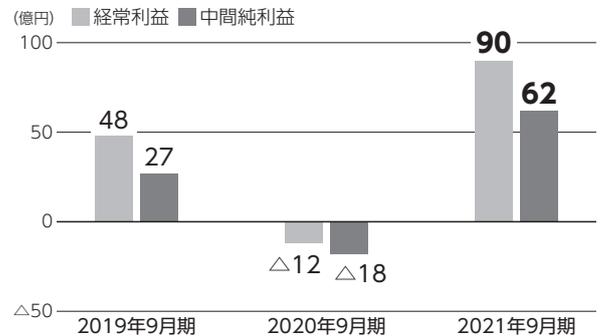
***コア業務純益（除く投資信託解約損益）とは**
銀行の本来業務からの利益を表す指標。



経常利益・中間純利益

経常利益は、コア業務純益（除く投資信託解約損益）の増加、株式等関係損益の改善などにより、前年同期比103億円増加して90億円となりました。

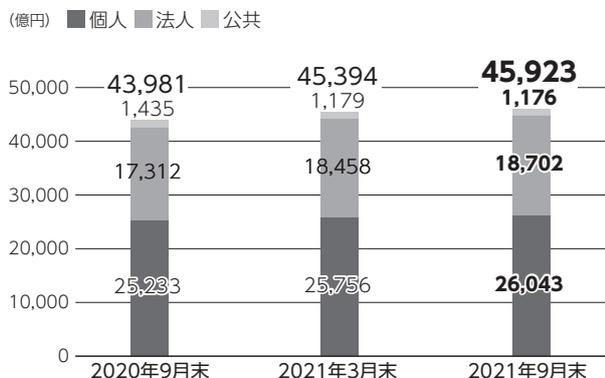
また、中間純利益は、前年同期比81億円増加して62億円となりました。



総預金・貸出金の残高推移

●総預金（預金+譲渡性預金）

当中間期末の総預金残高は、公共預金は減少しましたが、法人及び個人預金が増加したことにより、前期末比529億円増加して4兆5,923億円となりました。



●貸出金

当中間期末の貸出金残高は、公共向け貸出金は減少しましたが、法人向け及び個人向け貸出金が増加したことにより、前期末比195億円増加して3兆6,242億円となりました。

